

横浜市議会議員
あおき
青木 マキ

地域政党 神奈川ネットワーク運動

前神奈川県議会議員
わかばやし
若林 ともこ

No.126

ネット・青葉レポート

<http://aoba.kgnet.gr.jp>

〒225-0024 横浜市青葉区市が尾町1151-1-203 TEL: 045-508-9475 FAX: 045-508-9474

青木マキの市議会レポート

「横浜市子どもの貧困対策に関する計画」策定段階から、拡充を強く求めてきた寄り添い型学習支援は受け入れ枠を拡大し、生活支援は2箇所の新規開設を予定しています。中学校卒業後のアフター

**前進しました！
学習支援・生活支援**



横浜市2017年度一般会計予算は、1兆6459億円で前年度比8.7%増のプラス予算となっています。増加の主な原因は、県費負担教職員の市費移管に伴う事業費(1510億円)です。この事業費を除くと、1兆4949億円となり、前年比1.3%減となります。子育てや福祉に関する予算は、前年度比3.5%増。市税収入は3年ぶりに増収見込みです。一方、山下埠頭の再開発、新市庁舎整備、新たなMICE施設の整備などハードへの投資も際立っており、予算審議では、あらためて「人」への投資の重要性を訴え、次世代を支える施策の充実については一定の評価をし、2017年度予算に賛成しました。

次世代を支える施策の充実を！

横浜市2017年度予算

地方議員が厚生年金に加入することで、新たな市民負担も生じますが、想定される負担額など市民への説明は行われていません。相

水面下で進む法整備

やっぱりNO! 新たな議員の年金制度

地方議員の「厚生年金への加入等、新たな年金制度」を求める意見書を採択した議会が、今年1月現在で29都道府県議会と8政令市を含む871となったことが報じられています。横浜市会でも12月に意見書が採択されました。

若林ともこ

厚生年金への加入を求める議員からは、議員の専門化が進んでいることや議員のなり手を増やすためという理由が聞かれます。議員の厚生年金加入への法整備に取り組んでいる全国市議会議長会では、「全国市議会旬報」(※1)に、市議会議員の属性に関する調(しらべ)を掲載し、法整備の論拠として議員の専業率の増加を挙

調査の正確性を問う

次いで政務活動費の不適切な使い方が明らかになった富山県で意見書を採択した議会はゼロ。やはり、新たな法整備を求めることは言い出しにくいということでしょうか。地方制度調査会においては、2011年の議員年金廃止以前に、多様な人材確保のために諸外国を参考として、勤労者等の立候補や議員活動を容易にするために環境整備等幅広く検討する必要性が提起されていきました。これらについて具体的な検討を先送りし、自らの保障を優先した議論だけが進んでいます。

2017年度保育所整備は、1655人分の定員増となります。昨年10月時点での保育所の保留児童(※)数は約

一時預かりを拡げる 子ども・子育て支援

「生活に困窮者している」、「働きたいのに働けない」という方たちのために、就労の準備や訓練を行う事業をより柔軟に進めることを提案し、利用者の収入資産要件の見直しや、手続きの簡略化が進みました。

働くを応援する 就労準備支援事業・就労訓練事業



質疑する青木マキ市議 6000人。短期の就労や、育児不安を支える一時預かりへのニーズも高まる一方で、これまでも一時預かりの必要性を強く訴え、実施数は年々増加、少しづつ支援の充実が図られています。

困難な家庭を支える 中学校昼食「ハマ弁」

今後も子どもの貧困に対して直接支援ができる就学援助の基準額や内容の見直すことや、中学校昼食「ハマ弁」についても、引き続き、昼食の用意が困難な生徒への支援への充実を求めています。 (※) 保留児童・保育所に入所申込みをして入所できなかった児童。(保留児童から、横浜保育室、一時保育、幼稚園預かり保育等の利用者や、育児休業中の家庭の児童、特定の保育園のみを希望する児童をマイナスした数を待機児童数として公表しています。)

市民政治を實踐する

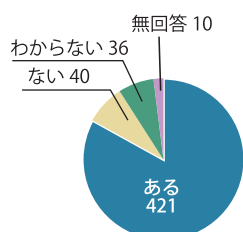
神奈川県が実施した地方議員の年金に関する市民アンケートには、地方議員の厚生年金加入の妥当性に疑問の声が聞かれ、国民年金の充実こそ優先して取り組むべきとの意見が多数寄せられています。こうした声を、全国市議会議長会や総務大臣にもしっかりと届けていきます。社会のあらゆる面で格差が拡がり、多様な生き方を認め合う共生社会が求められている今、神奈川県は、代わり合う市民政治を實踐し、多様な市民の生活課題の解決に努力します。

※1 全国市議会議長会発行の刊行物(2/15発行)。2016年7月に全国市議会議長会からの依頼で、全国813市区を対象に「全国市議会議員現況調査」がオンラインで実施

市民アンケート

回答者 507人

Q: あなたが加入している年金制度に対して、将来の不安はありますか?



Q: 地方議員が厚生年金に加入できるようにするなど、議員のための新たな年金制度が検討されていますが、どう思いますか?

